



世界同時開催！！SDGsの達成に向けたデザインワークショップ 「Global Goals Jam Trans-local: Japan 2022」を開催

九州大学大学院芸術工学研究院は、京都産業大学・山口大学と共同で、持続可能な開発目標 SDGs の達成に向けたデザインワークショップ「Global Goals Jam Trans-local: Japan 2022」を開催します。

本ワークショップは、福岡・山口・京都の3会場で対面実施し、プロジェクトを超えた議論やプレゼンテーションは、各会場をオンラインで繋ぎ実施します。ハイブリッド方式での開催により、実空間を共有することで生まれる密度の高いコミュニケーションと、オンラインによる地域を超えたコラボレーションを実現します。

福岡では、SDGsの目標4（質の高い教育をみんなに）、目標11（住み続けられるまちづくりを）、目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）の分野に着目し、3つのテーマの課題解決に取り組みます。

<Global Goals Jam Trans-local: Japan 2022>

【日時】2022年9月17日（土）、18日（日）9:00~18:00 ※福岡・京都・山口同時開催

【会場】福岡会場：九州大学大学院芸術工学研究院（福岡市南区塩原4-9-1）

【運営】九州大学 未来デザイン学センター/大学院芸術工学研究院 SDGs デザインユニット

*ワークショップ詳細は別添資料ならびに下記Webサイトをご参照下さい。

<https://fabcafe.com/jp/events/kyoto/ggj-tlj-2022/>



Global Goals Jam (GGJ) は、2016年にアムステルダム応用科学大学と国連開発計画（UNDP）が主体となって始まりました。持続可能な開発目標、SDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向け、グローバルな視点で持続可能性を考え、ローカルな課題解決のアイデアを生み出す2日間の国際的な市民参加型ワークショップで、デザイナー、プログラマー、エンジニア、研究者、市民など、分野を超えた様々な参加者が、デザイン手法を使って世界共通の課題であるSDGsに取り組みます。アムステルダムで始まったこの活動は多くの共感を呼び、世界中でこれまで200以上のイベントが開催され、1000以上のアイデアが生み出されています。九州大学大学院芸術工学研究院が共催するGlobal Goals Jamは今年度で7回目を迎えます。

【お問い合わせ】九州大学大学院芸術工学研究院 SDGs デザインユニット

TEL: 092-553-9461

Mail: ggj@design.kyushu-u.ac.jp

- 日 時 2022年9月17日(土)、18日(日)9:00~18:00 ※福岡・京都・山口同時開催
- 会 場 福岡会場:九州大学大学院 芸術工学研究院(福岡市南区塩原4丁目9-1)
- 参加者 参加無料 定員20人 ※すでに募集は締め切っております。
- 取り組み内容 (テーマD,E,F:福岡会場)以下をご覧ください。
(テーマA,B:京都会場、テーマC:山口会場)

プロジェクトD:小学生をわくわくさせる川辺をデザインしよう!

プロジェクトパートナー:那珂川(福岡市立塩原小学校)

九州の佐賀と福岡をまたがる脊振山を水源に博多湾に流れ込む全長35kmにわたる二級河川である那珂川(なががわ)。今回のチャレンジは、その流域の中でも特に、九州大学大橋キャンパスのすぐ裏にある塩原小学校の付近にフォーカスします。全国的にもミズベリングの活動が盛り上がってきている中、どうポテンシャルを活かせるかチャレンジしたいとのこと。小学生をワクワクさせる、未来の水辺の世界を一緒に考えてみましょう!



プロジェクトE:街中で花と緑を持続させる、ワクワクする水管理のデザインとは?

プロジェクトパートナー:木村三重子氏(環境演出家協会)

どんな小さなスペースでも環境演出できることですが、ひとつ課題を抱えているとのことでした。それは、水やりや水管理です。それを解決するデザインを作りたい。これは、SDGsの目標でいうと17の「パートナーシップで目標を達成しよう」という2022年のGGJの世界共通のテーマとしてピックアップされているテーマでもあるので、ぜひ皆で取り組み、世界のGGJ参加者にもシェアしたいところです!



プロジェクトF:都市と繋ぐことで、有機農業をサステナブルにデザインしよう!

プロジェクトパートナー:福田まや氏(アートディレクター/デザイナー)

今回福田さんがテーマとして投げかけたのは、耶馬溪で1948年に創業して74年続いている下郷農協。中山間地を生かして、酪農、養豚、養鶏、お茶や野菜を少量/多品種生産しており、設立時からオーガニックを貫いています。福田さんは2021年のGGJでも耶馬溪をテーマにプロジェクトパートナーとして参加しており、そこで出た「畑の学校」というアイデアを、農家の方が面白がってくれたということから、今年もさらに深め、耶馬溪のオーガニックな農業を都市と繋ぐことで、いかに持続可能にしていけるか考えたいとのこと。



※ 詳細は「Global Goals Jam Trans-local:Japan 2022」Webサイトをご参照ください。

URL:<https://fabcafe.com/jp/events/kyoto/ggj-tlj-2022/>